

令和5年（2023年）度

渋谷区立原宿外苑中学校の教育実践

Annual Report 2023

令和4・5年度 渋谷区教育委員会研究指定校

シブヤ「部活動改革」プロジェクト

「部活動の地域移行を推進するためのモデル校」

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
知識構成型ジグソー法をベースとした「学びの革新」
- 学校DX
単なるデジタル化ではなく、根本からデジタルネイティブに転換することを旨としたテクノロジーの「普段使い」
- 地域のリソース（教育資源）と「学び」の Collaboration
地域の拠点としての企業・団体等とのコラボレーション
「Authentic Learning」
- 部活動改革
渋谷ユナイテッドとの協働により部活動の本格地域移行の実践

令和6年（2024年）3月

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

知識構成型ジグソー法をベースとした「学びの革新」

○ 教育実践 & 教育カンファレンス

未来社会をよりよく生きるためのスキル（資質・能力）を育成する

「未来の学び」の創造 ～渋谷区 『未来の学校』づくりへのアプローチ～

渋谷区の未来像「ちがいをちからに変える街。渋谷区。」学校内外における様々なリソースを活用して、自分の個性を伸ばし、先進的で柔軟な考え育み、未来社会をよりよく生きるためのスキル（資質・能力）を育成する。渋谷区 『未来の学校』へ向け新しい教育活動 『未来の学び』の創造への挑戦

令和4・5年度 渋谷区教育委員会研究指定校 研究発表

令和6年（2024年）1月18日（木）11時30分から17時00分 実施

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/89203/584577.pdf>



◇ 教育実践公開

- ・教育関係者向け全学級授業公開（9学級×2時間）
- ・生徒作品展（教育活動×Art）体育館1階
- ・吹奏楽部（令和5年度東京都中学校吹奏楽コンクール金賞受賞）演奏
- ・生徒会告知「Paris 2024 Paralympic Support 地域 Event」に向けて
- ・ワークショップ 「原外カフェ」（民生委員による中学生の居場所づくり）体験
- ・ワークショップ 学校コンポスト 「土」づくりプロジェクト体験
- ・ワークショップ 生徒作品展 対話型鑑賞会

◇ 教育カンファレンス

- ・実践報告動画上映 30分 ※ 視聴を希望する方は校長室まで
- ・トークセッション 聖心女子大学 教授 益川 弘如 × 校長 駒崎 彰一
渋谷区「未来の学校」へ向けた教育実践から これからの日本の教育を考える
- ・トークセッション シブヤ部活動改革プロジェクト
一般社団法人 渋谷ユナイテッド 代表理事 豊岡 弘敏
原宿外苑サポートチーム
原宿外苑中学校 部活動改革担当主幹教諭 阿部 祐太

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1320122&frame=frm6597396fb0d03>



全国より教育関係者（小中学校教員・教育関係事業者・地域）の参加をいただきました。

○ Teachers Learning Day

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/77029/478736.pdf>

今年度からスタートした実践。月に1回、午前授業として午後を教員研修の時間に設定。

令和5年（2023年）度は授業デザイン研修会として実施した。

- 5月 1日（月）授業デザイン研修（知識構成型ジグソー法）
- 6月 5日（月）授業プラン作成（教科横断型授業デザイン）
- 7月 10日（月）教育長・教育指導課訪問
- 8月 29日（月）授業デザイン研修（聖心女子大学 益川 弘如 教授）
- 9月 4日（月）授業プラン作成（カンファレンス映像制作大作戦）
- 10月 11日（水）授業プラン作成（カンファレンス映像制作大作戦）
- 11月 13日（月）公開授業プランニングシート作成
- 12月 18日（月）公開授業プランニングシート検討
- 1月 22日（月）インテル® Skills for Innovation
- 2月 19日（月）インテル® Skills for Innovation
- 3月 11日（月）インテル® Skills for Innovation



○ 教員研修 インテル® Skills for Innovation



世界最大の半導体メーカー「インテル株式会社」との collaboration により海外で展開されている教員研修「Skills for Innovation」を「日本初」の導入。

この研修は、これまで本校が目指してきた教育活動の延長線上にある「学び」と「テクノロジー」をつないでいくための研修です。

本研修は 株式会社キャリアリンク <https://www.careerlink-edu.co.jp/> により運営されています。

<https://skillsforinnovation.intel.com/landing/index-Japanese.html#what is intel>




学校 DX

単なるデジタル化ではなく、根本からデジタルネイティブに転換することを目指したテクノロジーの「普段使い」

○ 学校公式 Web サイト

学校公式Webサイト

- 校務DXの第一歩
- 生徒・保護者・地域と協働体制の基盤
- 完全ペーパーレス化の実現
単なるデジタル化でなく
利便性の追究

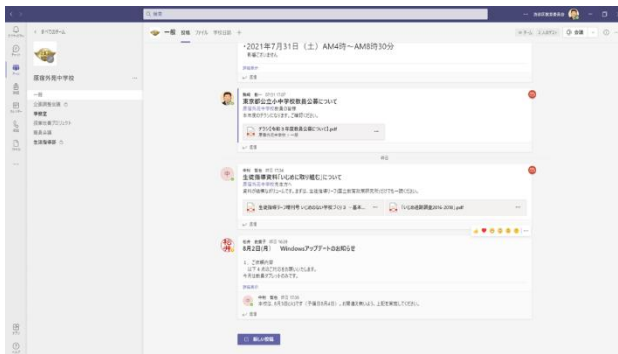


年間アクセス数の推移

2020年度	31399
2021年度	126928
2022年度	141763
2023年度	195500

(2023年度は2024/03/15現在)

○ 校務での情報共有

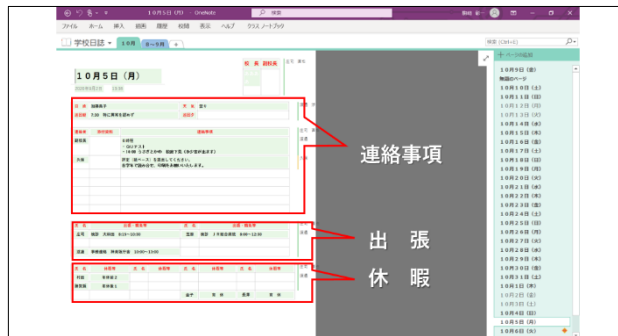


校務での情報共有のためビジネスチャットツール（Microsoft Teams）のファイルサーバ・チャット・チーム・チャンネル等のフル活用。Microsoft Office ツールとの併用によって会議の時間を前年比1/4まで削減。

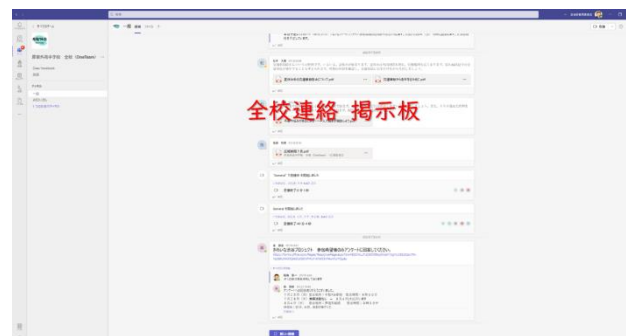
○ デジタル学校日誌

Microsoft Onenote を活用して学校日誌を共同編集。教員の情報共有ツールのベースとして利用。

日々の連絡事項・出張・休暇が確認できるため情報共有に欠かせないツールとなっています。



○ 生徒間、生徒・教職員間情報共有

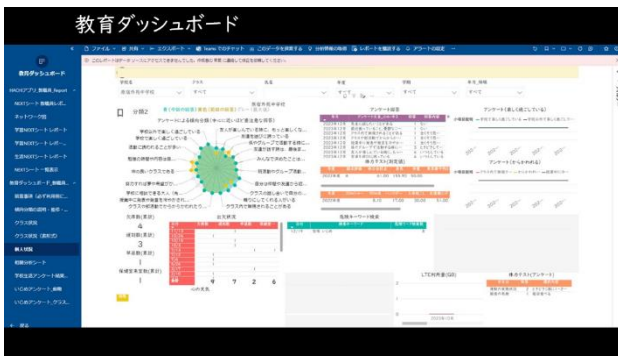


校内の情報共有のためにもビジネスチャットツール（Microsoft Teams）や Microsoft Office ツールフル活用。

全校・学年・学級・生徒会活動・部活動等のチームを編成しています。

学級日誌や毎日の連絡、短文日記など双方向の情報共有が広がっています。

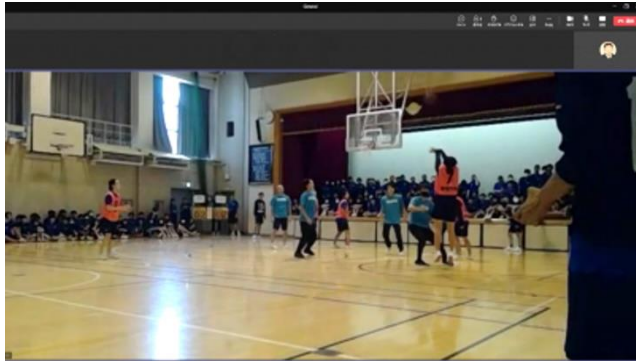
○ 教育ダッシュボード



生徒・保護者の同意を得て、タブレット PC の利用履歴等を「教育ダッシュボード」として一括管理して教育活動に活かしています。

各種調査やアンケートの結果も集約し、比較等が容易にできるため、指導に活かす取組みを進めています。

○ 授業での ICT (テクノロジー) 活用



生徒が主体的に使いたいときに使う「ツール」としての活用が広がっています。「一斉に」同じ課題に、同じアプリでデジタルを利用するといった「そろえる」活用は、確実に減ってきています。高校・大学、そして社会に出て、課題解決にあたる時に、どのように端末を利用しているのかということを我々教員が意識しての端末の活用を広げています。

地域のリソース(教育資源)と「学び」の Collaboration

地域の拠点としての企業・団体等とのコラボレーションによる「Authentic Learning」

○ 土づくりプロジェクト(生徒・保護者・地域・教職員の協働によるコンポスト運営)

令和5年1月よりスタートしたプロジェクト。麻袋による原宿外苑大根の栽培、収穫した後の麻袋を土に戻すため「コンポスト」の製作からスタート。学校の廃材を利用して組み立て、柿渋を塗った初代コンポスト(通称:木枠くん)。「ぼかし肥料」と麻袋と水を投入して堆肥化に着手。その後、給食の野菜残渣やシュレッダーごみの堆肥化に拡充するため2代目となる大型コンポストを導入。(通称:堆造くん)そして、微生物による分解を促進するための「米ぬか」を地域のお米屋さんから無償でいただき投入。「米ぬか」を入れると分解が促進され、コンポスト内の温度が急上昇。この発酵臭を抑えるため、地域のコーヒーショップよりコーヒーの「豆かす」を無償でいただき投入。本格的、コンポストの運用となってきています。コンポスト内を攪拌して新鮮な空気に触れさせる「切り返し」作業の効率化を図るため耕運機を導入。



令和5年7月には「完熟堆肥」として完成。昨年度の大根栽培に利用した土に完熟堆肥を混ぜ、本年度の大根栽培に使用。土づくりプロジェクト Season01 が終了。

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/82769/526564.pdf>

令和5年9月から Season02 がスタート。堆造くんを中心に堆肥づくりを進めました。向日葵 Sunflower 育成プロジェクトを終えた、向日葵の枯れ草約100株の堆肥化や給食野菜残渣等の堆肥化も順調に進んでいます。令和6年1月には原宿外苑大根 2023 が終了。2回目の麻袋の堆肥化を木枠くんによりスタートさせました。

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/90761/585982.pdf>



○ 原宿外苑大根2023

2年目を迎えた麻袋による大根栽培。9月上旬に種まきをするも厳しい残暑が続く。大根の成長適温期20度前半には程遠い30度を超える残暑に、発芽しても成長しない大根が全体の2割。10月に入っても異常高温。そして11月上旬でも25度を超える状況にあり大根の成長不良が目立つ。さらに11月中旬に入ると突然気温が下がり20度届かない日が続く、12月には最高気温が10度前半となり、ほとんどの大根の成長が止まり、ほぼ全滅の状況でした。自然の厳しさを改めて認識した原宿外苑大根2023の取組。該当学年生徒は、次年度「干芋」づくりプロジェクトとしてリベンジ予定。



○ マメ(味噌づくり)プロジェクト

令和5年3月末に大豆の種まき。関東地方では4月末に種まきをすることが多い大豆ですが、10月には味噌の仕込みに入りたいため、寒冷地仕様の大豆を取り寄せて早めの種まき。今年の春は安定した天候で順調に成長。9月には玄関脇の軒先で乾燥作業。昨年と同じ作付面積で3倍の収穫。



10月30日に有志の生徒・保護者・地域参加者で味噌の仕込み。3月に完成して関係者で試食。

3月12日(火)に原宿外苑ワンダフル給食として「さつま汁」に利用。

校長室だより 第3号 「マメ(味噌づくり)」プロジェクト2023 始動

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/76289/473660.pdf>

第67号「マメ(味噌づくり)」プロジェクト2023 大豆収穫

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/85986/552507.pdf>

第75号「マメ(味噌づくり)」プロジェクト2023 味噌の仕込み

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/86633/557209.pdf>

第120号 原宿外苑ワンダフル給食プロジェクト報告 原宿外苑味噌を使用した「さつま汁」

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/93715/609202.pdf>



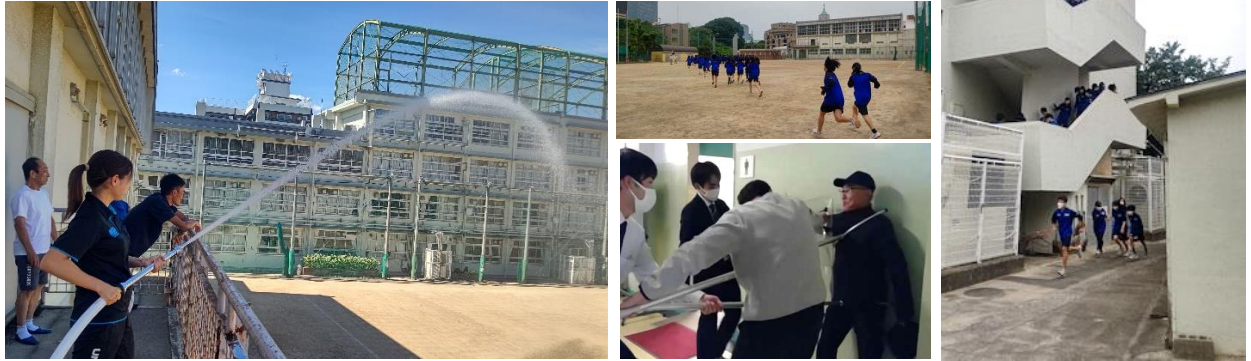
○ 向日葵 Sunflower 育成プロジェクト

給食室前と校庭の花壇を中心に「ひまわりガーデン代官山坂実行委員会」から頂いた種と本校で準備をしたスペイン産の種を6月7日に有志生徒で種まき。土づくりプロジェクトの完熟堆肥も利用。きれいな花を咲かせてくれました。咲き終わった向日葵から2kg程の種を収穫しました。



○ 実践型避難訓練

年間を通して毎月 1 回実施している避難訓練を根本から見直し、実践に即した訓練に再構築しています。具体的には 4 月当初から大震災を想定した保護者引き渡し訓練を実施するなど、これまでの慣例にとられない訓練を実施しています。



○ 原外カフェ

Teachers Learning Day の時間の生徒のために、地域の民生委員・主任児童委員の有志の皆さんが「原宿外苑中学校 生徒のための放課後居場所づくりプロジェクト」として、「原外カフェサロン運営委員会」を設立して準備を進め、5月1日(月)よりスタートしました!

具体的には、月 1 回開催される Teachers Learning Day にあわせて、本校の玄関付近で本校生徒専用の「カフェ」を開設。このカフェでは、ガーデンテーブル & チェアを用意して、お茶やジュース・お茶菓子等の無料提供(様々な団体・企業にご協力をお願いします。)とBGM(静かな音楽やピアノ演奏)の流れる本格的なカフェとなっています。



○ 新デザイン制服 本格スタート



本校伝統の詰襟学生服と人気のセーラー服との調和をテーマに、セーラー服のデザイナー小篠ゆまさん(学校近隣に事務所があります。)による新デザインの制服が令和5年度より本格スタートしました。生徒は新デザイン制服を含め、選択することができるようになりました。

○ 体育祭 & なみき祭(舞台発表) 完全復活

コロナ禍での縮小が続いた体育祭 & なみき祭(舞台発表) が完全復活しました。縮小していく学校もあるようですが・・・本校では生徒を主体の行事として、さらに充実させていきたいと考えています。



○ 情報モラル教室

デジタルリスク管理のコンサルティング業務にあたっている渋谷区内に東京本社のある事業者「株式会社ジールコミュニケーションズ」<https://zeal-c.jp/> とのコラボレーションにより、デジタルリスクを管理する最前線の専門家から直接お話を聴く機会となりました。



○ 南極観測船 砕氷艦「しらせ」 艦長講演会 南極の氷「いただきます」



海上自衛隊砕氷艦「しらせ」第65次隊(11月に出港します)の齋藤一城艦長からお話をいただき、南極の「氷」と海上自衛隊の記念品をいただきました。給食で麦茶とともに全員で氷をいただきました。



○ 武蔵野美術大学「旅するムサビ」プロジェクト・コラボ企画制作映像上映会

武蔵野美術大学「旅するムサビ」プロジェクトとのコラボ企画。このプロジェクトで、制作した映像「原宿外苑中学校に…住み着く…妖怪…」 春休み3月に上映会を開催する予定でしたが…「雨」が続き…「妖怪」という内容でしたので夏休みの納涼イベントとして開催しました。ムサビの学生がプロジェクトを企画、放課後に有志の生徒を募って、原宿外苑中学校で…でてきそうな「妖怪」をデザイン。校舎内の至る所で「妖怪」が出現するという映像を創り上げました。この映像を校舎4階から校庭に大きく映写する上映会を開催しました。(原外カフェも「夜cafe」として開催。この映像の音響は日本大学芸術学部(ニチゲイ)の学生とのコラボで制作されています！



○ Legacy Sports in School

シッティングバレーボール Sitting Volleyball を1年生が1クラス1時間の体験をしました。

指導者はパラリンピアンに加藤 昌彦 選手 <https://www.parasapo.tokyo/featured-athletes/kato-masahiko>

小方 心緒吏 選手 <https://www.parasapo.tokyo/featured-athletes/ogata-shiori> が来校しました。



○ がん教育

2年生を対象に「がん教育」の授業を、東京都医師会・渋谷区医師会から川上一恵先生(小児科医かずえキッズクリニック院長 <http://kazue.kids.coocan.jp>)に来校いただきました。

がんという病気・日本のがんの現状・がんの発生と進行・がんの予防・検診の意味・がんの治療で大切なこと(標準治療)・がん治療の支援・がん患者の思い・がん患者と共に生きる社会…幅広い内容で様々な投げかけがあり「考える」ことの多い時間をみんなで共有しました。



○ 原宿表参道元氣祭スーパーよさこい 2023

「地域の祭り」原宿表参道榊会主催の元氣祭「スーパーよさこい2023」がコロナ前の規模での全面実施。8月26日(土)・27日(日)に開催。

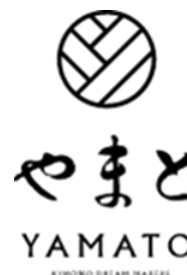
「原宿よさこい連」とのコラボレーションにより、1日目 26日(土)は、3年生と2年生で参加。2日目 27日(火)は、1年生を含む有志生徒と保護者、卒業生、地域関係者にて参加しました。



○ 2年目の和服(浴衣)の着付け授業

千駄ヶ谷に本社のある「きもの やまと」 <https://store.kimono-yamato.com/>との2年目のコラボレーションで、全学年全学級、家庭科の授業で和服(浴衣)着付けを体験しました。全員で女性用の浴衣の着付けと着物のたたみ方を学ぶとともに、浴衣を着て「映える浴衣姿」の撮影会を美術の授業として展開しました。(希望者は、男性の浴衣に着替えることもできます。)

2年目となり、上級生は確実に上達しています。3年間通して経験すると自力で着付けができるのではと感じました。



○ 「ゆかた」デザインコンテスト

本年度の新たなプロジェクト。着付け授業を展開した(株)やまとコラボレーション企画で3年生が「ゆかた」のデザインに挑戦しました。

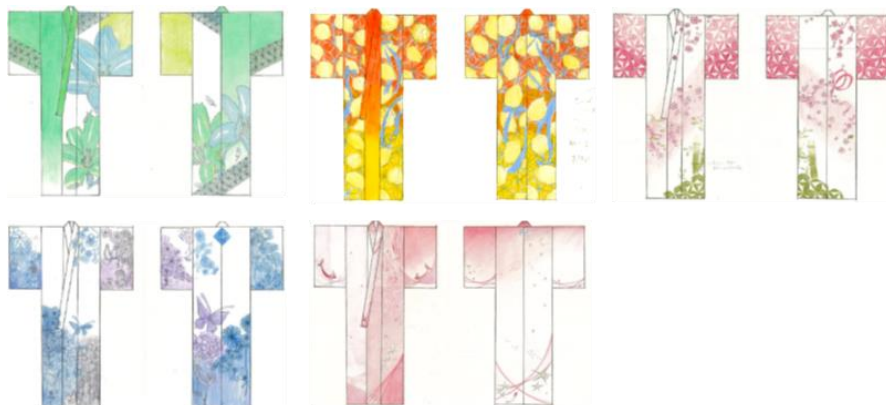
コンテストですので…最終的に「最優秀作品」を決定するため1次審査として校内審査30作品を選定。

校長・副校長・美術科教員による審査

2次審査として本校Webサイトでの投票。

上位5作品を(株)やまとへ。

最終審査は、(株)やまとwebサイトにて一般投票。「最優秀作品」が決定しました。



最終審査 https://www.kimono-yamato.co.jp/yukatadesign_contest/

最優秀作品 https://www.kimono-yamato.co.jp/articles/yukatadesign_contest/

○ FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023 観戦

渋谷区スポーツ部とのコラボ企画により、代々木第一体育館で開催された「ワールドカップバレー2023」の観戦及びスタジアム体験が実現しました。

以下の日程で、全学年が観戦しました。

2年生 9月19日(火) 10:00~【ベルギーVS アルゼンチン】

1年生 20日(水) 10:00~【ベルギーVS ペルー】

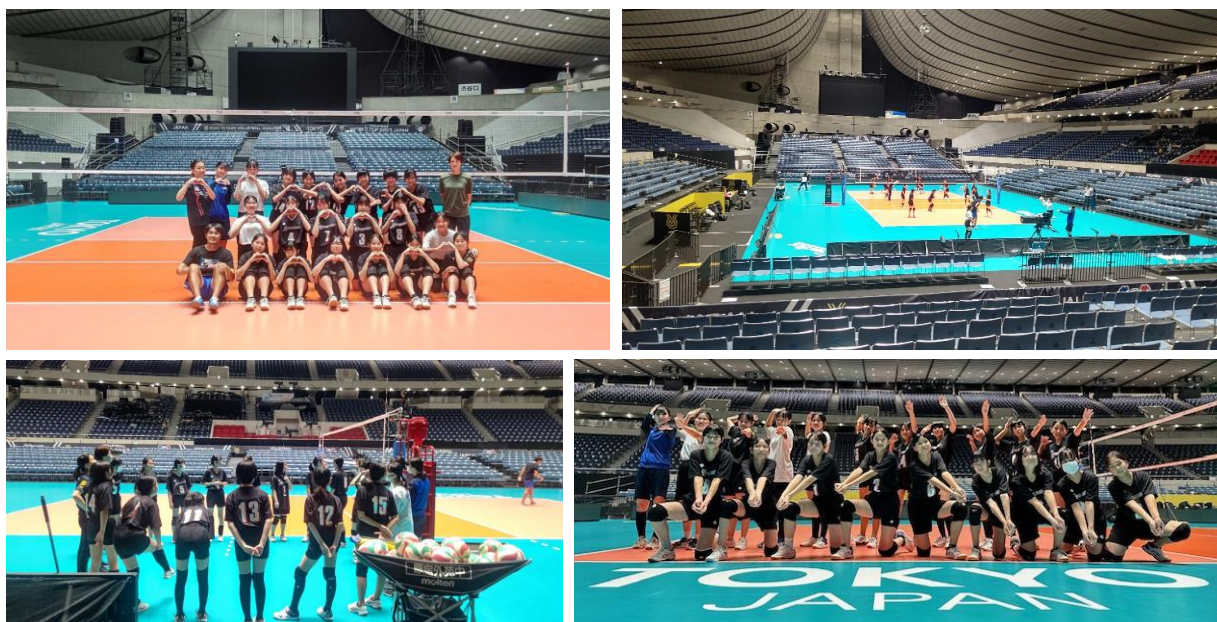
3年生 10月3日(火) 10:00~【スロベニア VS フィンランド】



○ FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023 スタジアムツアー

標記の女子大会と男子大会の狭間で、試合のない9月27日(水)に本校バレーボール部が普段見ることができないバックヤードや選手たちが実際にプレーするマッチコートを利用した「スタジアム体験ツアー」。日本バレーボール協会・渋谷区スポーツ部のコラボレーションにより実現しました。

バレーボール部の生徒たちは「ありえない!!」「ディズニーランドより夢!!」と終始興奮した様子でした。



○ 東京ランフェス きれいな渋谷プロジェクト with 原宿外苑中学校

「きれいな渋谷プロジェクト <https://kireinashibuya.hp.peraichi.com>」および東京マラソン財団とのコラボレーションでのゴミ拾い企画、10月15日(日)に国立競技場をスタートそしてフィニッシュとして開催される「東京レガシーハーフマラソン 2023」の開催を前に、国立競技場を中心に周辺地区のゴミ拾いをして、きれいな街でランナーの皆さんをお迎えしよう! というプロジェクト。



○ HALLOWEEN SPECIAL MATCH

3年生の体育授業「バレーボール」上位チームと女子バレーボール部の試合が渋谷ユナイテッドとのコラボレーションで実現しました。途中バレーボール部ユナイテッドコーチ(元Vリーガー)が入り、相手のいないところを狙いサーブや絶妙なトス裁きを披露し、会場を沸かせていました。



○ スケアード・ストレイト教育技法(スタントマンによる事故再現) による自転車交通安全教室

警視庁原宿警察署・渋谷区土木部交通政策課・渋谷区教育委員会とのコラボレーションにより、このスペシャル授業が実現しました。本校では2年に1回のペースで実施していく予定になっております。



○ デザイン思考で考える富士通 SDGs プログラム

富士通株式会社が商品開発や社会課題解決に活用しているデザイン思考を使い、社会課題の解決方法を考えることによって「未来の社会を創造する力」の育成を目的に開発された教育プログラムを1年生が実践しました。3校によるオンラインミーティングもあり。本校と23区内の中学校、都外中学校をつないで授業が展開されました。 <https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/community/society/education/sdgs/>

本プログラムは、株式会社キャリアリンク <https://www.careerlink-edu.co.jp/> により運営されています。



○ 台湾中学生との国際交流

代々木にある「さくら国際高校」とのコラボ企画で実現しました台湾中学生との国際交流。16名の中学生が来校しました。2校時後休み時間に歓迎会、3校時に校内見学、4校時には英語授業に、そして各学級に分かれて給食の時間となりました。英語やタブレットPCを使ってコミュニケーションを深めようとする姿が印象的でした。来校中学校 台湾屏東縣私立南榮國民中學校 URL: <https://www.nzjh.ptc.edu.tw>



○ 修学旅行 2025「高知」へ

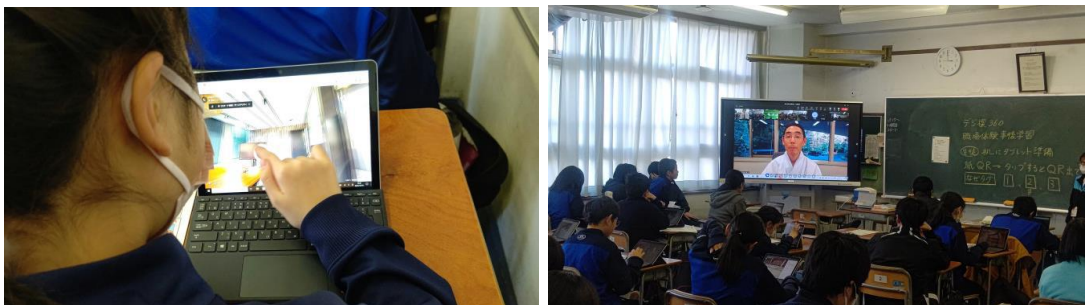
令和7年度に実施予定の現1年生の修学旅行の「取扱事業者」および「行き先」の選定に関する企画 提案プレゼンを1学年生徒全員と保護者に公開して実施いたしました。プレゼン後の投票において、よさこいの本場「高知」への修学旅行が決定しました。1泊目が四万十市、2泊目が高知市の予定です。



○ 「デジ探360」AR・VR・オンラインを使った「キャリア」について考える探究授業

経済産業省教育産業室「探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金」事業（探究的な学び支援補助金 2023）により実現した授業です。この補助金は、学校等教育機関における探究学習や情報活用能力育成の高度化を推進するために、探究学習や情報活用能力育成に資するサービスを提供する事業者に対して、事業費等に要する経費の一部を補助しているものです。<https://www.tankyu-hojo.jp/>

今回、都内のベンチャー企業である「株式会社 SunReality」<https://sunreality.jp/> が開発した「デジ探360」というテクノロジーを利用した探究型キャリア教育に1年生が挑戦しました。区内3校（広尾・笹塚・原宿外苑）をオンラインでつないだコラボ授業で「明治神宮」を題材にしました。



- 「VOCALOID™」教育版 ・「teamLab Body」の導入
学習アプリとしてクリエイティブツールをタブレット端末に導入。(本校独自)



- 東京マラソン体験プログラム「ミニ東京マラソン」

一般財団法人東京マラソン財団 <https://tokyo42195.org/> とのコラボレーションで実現した授業。2年生が体育科(長距離走)の授業として実施しました。『ミニ東京マラソン』は、スポーツ大会の支援および「普及啓発」を目的として、東京マラソンのコンセプトである「走る喜び(ランナー)、支える誇り(ボランティア)、応援する楽しみ(観戦者)」に沿った東京マラソンの疑似体験を通じて、スポーツの様々な楽しみ方や魅力を伝える特別授業です。

元陸上競技長距離選手でシドニー・アテネオリンピック日本代表の 大島 めぐみ さんから長距離走の基本を指導していただき、「ランナー・ボランティア・観戦者」として「喜び・楽しみ・誇り」を体感しました。



- 陸上競技部主催 フルマラソン42.195km'リレー

参加希望生徒でトラック1周(150m)をリレー形式でつなぎフルマラソン(42.195km 150m×281週+45m)の世界記録に挑戦しようというプロジェクト!

2チームで実施。両チームとも 1時間57分29秒 1時間57分33秒
世界記録を超えることができました!



○ DANCE 体験教室

渋谷区教育委員会の企画により実現しました(株)LDH JAPAN <https://www.ldh.co.jp/> <https://ldh.inc/> とのコラボ授業。1・2年生が本物のダンスを体感しました。

(株)LDH JAPAN(EXILE や三代目 J SOUL BROTHERS、GENERATIONS 等が所属 のエンターテインメント企業)の運営するダンススクール「EXPG」 <https://expg.jp/> より2名のインストラクターに来校いただき学年ごとに50分間のレッスンになりました。切れのあるダンスの実演を観て、説明を聞いて体感してみる。貴重な体験になりました。



○ 車いすバスケットボール体験

今回、東京恵比寿ロータリークラブ <http://ebisurc.org/> による企画で実現しました。2000年シドニーパラリンピック大会男子車いすバスケットボール協議で日本代表チームのキャプテンを務めた根木 慎志さん <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/instructors/negishinji/> をゲストに迎え、実演・講

演をいただき、代表生徒や教員チームによる体験ゲームも行われました。「障害は社会にある。」というお話が印象的でした。



○ 越前和紙 紙すき体験(和紙アート)

福井県の文化を広めようという有志の方々の企画により、昨年度に引き続き実施することができました。日本の伝統文化である「越前和紙」福井県越前市今立地区(旧今立町)で製造される和紙で現在も品質、種類、量ともに全国1位の和紙産地として生産が続けられています。この越前今立で「IMADATE ART FIELD」(今立現代美術紙展)実行委員長を務める増田頼保氏をゲスト・ティチャーとして迎え、単なる伝統の紙すきだけではなく、様々な素材を組み合わせた和紙アートを12月に全校で体験しました。



○ MIXIブロックアイランド「Kids VALLEY 未来の学びプロジェクト」

昨年度に引き続き、区内事業者の株式会社 MIXI <https://mixi.co.jp/> が開発した「プログラミング学習」と「未来の街づくり」を掛け合わせた教材「MIXIブロック



アイランド」を活用した授業に 1 年生が取り組みました。この取組は、渋谷区が展開する「Kids VALLEY 未来の学びプロジェクト」 <https://kidsvalley.jp/> によるものです。渋谷に拠点を構える東急、サイバーエージェント、DeNA、GMO インターネットグループ、MIXI の5社が、プログラミング教育必修化に伴い、渋谷区教育委員会と連携し、次世代に必要な資質・能力を持った人材を渋谷から輩出する土台作りを進めることを目的に、渋谷区立小中学校のプログラミング教育を支援する「Kids VALLEY 未来の学びプロジェクト」を 2019 年から展開しています。この一環で、株式会社 MIXI より講師を招き、プログラミングツールにより「街づくり」のシミュレーションをしていくことで、チームで課題を見つけ、議論し試行錯誤して「未来の街づくり」を課題解決しながら目指していくものです。本格的なパラメーター（変数値）が設定されており、成果については実社会に近い成果指標が示されるものとなっています。



○ 「げんきな免疫プロジェクト」給食週間

「げんきな免疫プロジェクト」は、現在多くの企業や団体の協賛により全国展開されているプロジェクトで「ボーッと生きてんじゃねーよ!」で有名な「チョコちゃん」(チョコちゃんに叱られる! NHK)がイメージキャラクターとなっています。「げんきな免疫プロジェクト」Webサイト <https://www.genkimeneki.jp/>

今回は、学校給食を通して「免疫:体の内側から備える習慣」を考えていきます。メニューについて工夫をしていくとともに、いつもの「牛乳」ではなく、「プラズマ乳酸菌」の入った「おいしい免疫ケア」ドリンクが提供されました。

地方のテレビ局やネット系ニュースの取材が入りました。

<https://news.mynavi.jp/article/20240123-2868520/>



○ 「げんきな免疫プロジェクト」講演会

「げんきな免疫プロジェクト」給食週間第2弾を卒業式前の1週間で実施。これにあわせて「プラズマ乳酸菌」の開発チームのKIRIN キリンホールディングス株式会社 ヘルスサイエンス事業部皆さんによる講演会を全校で実施しました。



○ Drone Impact Challenge Education

ドローンテクノロジーで社会創造に貢献することを目指す区内ベンチャー企業(株)FPV ROBOTICS とのコラボ授業。「ドローンの活用によって、よりよい社会創造とモビリティ未来社会」についての講話とDroneのプログラミングフライトの体験、マニュアル操縦体験を2・3年生で実施しました。



○ パラリンピック2024パリ大会・デフリンピック2025東京大会 応援 キックオフ・イベント

生徒会本部役員が中心となり、今年の1月よりミーティングを重ね、現在、多くの関係団体と協調しながら企画を進めている令和6年6月8日(土)に実施を予定している「地域協創イベント」のプレ・イベントとして、3月9日(土)に生徒会本部役員の運営で実施。今回のイベントは東京法務局・東京都人権擁護委員連合会・東京都人権擁護委員協議会 渋谷地区委員会・原パラ実行委員会の皆さんに協力をいただいて実現しました。

「共生」をテーマに、多くのゲストから様々なメッセージをいただきました!

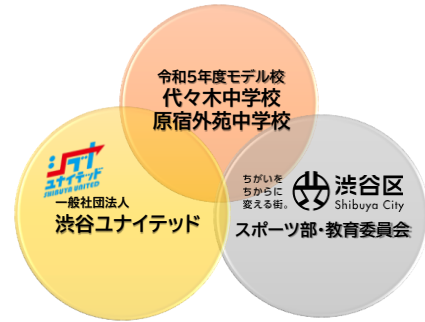
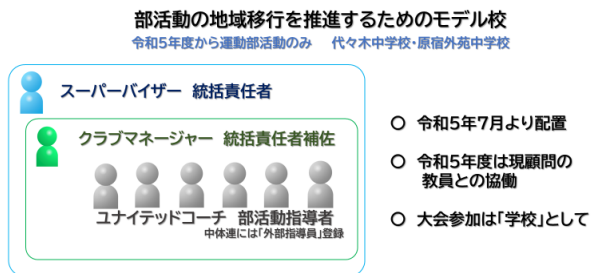
- | | | | |
|-----|--------------------|--------------------|-----------|
| 第1部 | 盲目のシンガーソングライター | 栗山 龍太 | 歌唱&トーク |
| | パラ陸上競技 元パラリンピアン | 花岡 伸和 | トーク・実演・体験 |
| 第2部 | 手話講師(ろう者) | モンキー高野 | トーク・実演・体験 |
| | デフ・ダンス | MAHO(元 Foorin 楽団員) | 実演・トーク |
| 第3部 | 日本パラバドミントン連盟アンバサダー | 島田 務 | トーク・実演・体験 |
| | 参加者によるトークセッション | | |



部活動改革

渋谷ユナイテッドとの協働により部活動の本格地域移行の実践

本年度「部活動の地域移行を推進するためのモデル校」として代々木中学校と共に、運動部活動について一般社団法人「渋谷ユナイテッド」、渋谷区スポーツ部、渋谷区教育委員会と取り組みを展開してきました。



本年度 7 月より運動部活動を運営するためにスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチなどの人材が配置されています。本年度は、教員との協働体制ですが運動部活動については、ほぼ顧問教員がいなくても運営できる体制が整いました。

実際に移行が進んでいくと様々な課題が出てきています。関係者と試行錯誤しながらより良い体制を作っていきたいと考えています。